日本タイムズ No. 107

地域密着

コミュニティー

北加日本協会

栄誉賞に茂木友三郎さん
芸術賞にフィリップ・ゴタンダさん

北加日本協会は先月、二十六日、二〇〇七年度の栄誉賞と芸術賞授賞式をサンフランシスコのウェスティン・セント・フランシスで行った。栄誉賞はキッコーマン会長の茂木友三郎さんに、芸術賞は劇作家として活躍するフィリップ・カン・ゴタンダさんに贈られた。

記念のトロフィーを受け取った茂木さんは、しょうゆが今ほど有名ではなかった当時の苦労を振り返りながら「これからも味の文化を続けて次世代に繋げたい」と受賞の言葉を述べた。ゴタンダさんは、過去に日本で受けた歓迎から自分他しのための歌をしたが、今は二カ国に属するとの思いを述べた。

アレン岡本さんから記念の盾を受け取る劇作家のフィリップ・カン・ゴタンダさん（左）＝二月二十六日、ウェスティン・セント・フランシス

場から日米間の橋渡しになれればと考えるようになったという。スピーチの合間では、自ら歌を手がけた芝居の一場面を披露するなど、最後には「政治や文化のように話しも融合できる」と力強く語った。

茂木さんは、一九三九年千葉県生まれ。慶応義塾大学法学部卒業後、野田醤油（現キッコーマン）入社。コロンビア大学ビジネススクールへ留学し、日本人として初の経営学修士（MBA）を取得。米国の工場建設を推進し、二〇〇四年に会長に就任。

ゴタンダさんは、サンフランシスコ在住の日系米国人三世。八〇年代後半、日系人初の本格的劇作家として米国劇界にデビュー。米国で暮らす日系人の苦難と文化の歴史に焦点をあてた作品を多数発表している。

同協会代表のデーナ・ルイスさんは「私たちにとって来年はさらに協力が必要な年になるでしょう。これまでは上に日米間の動きに密着し、素早い対応が求められる時代。日系米国人とともに、双方の社会で開けたなれるよう努めたい」と語られる。

栄誉賞は毎年、日米間のビジネス関係で重要な役割を担った個人または企業の業績をたたえて、同協会から贈られる。

北加日本協のマイケル・アーマコストさんと握手をするキッコーマン会長の茂木友三郎さん（右）